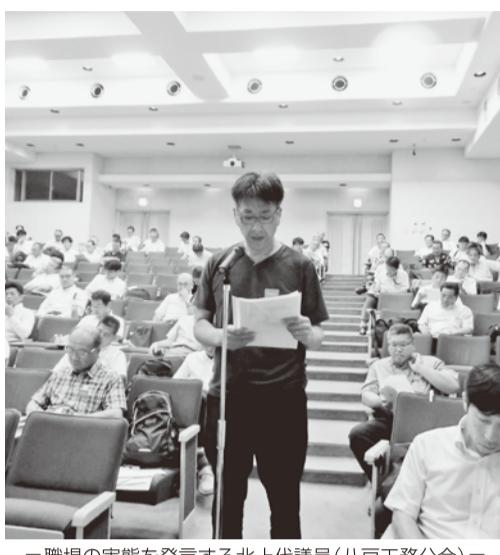


国労が見える運動を取り組もう

= 組織拡大・労働条件改善などに全力 =



=職場の実態を発言する北上代議員(八戸工務分会)=

盛岡の代議員2人も発言

今春闘を巡る東労組の瓦解により、職場状況は大きく変化した。労働条件改善・安全・安定・輸送の確立・サービスの維持・向上を図っていくためには、労働組合の力を欠くことはできない。

こうした中で8月24日・25日、「国労東日本本部第32回定期大会」が東京都・田町交通ビルにて開催され、「安心して働き続けられる職場作りこそが『安全・安定輸送』の確立とサービス向上につながる。そのためにも組織拡大は重要であり、労組不要論に対峙すべく、分会活動を活性化させていく中から国労が見える取り組みを全体で『行っていく』との書記長集約を全体で確認し、当面する運動方針を確立した。

今日の情勢を踏まえ、全組合員が組織拡大の取り組みに集中しよう。

格審査の結果、代議員40人中39人の出席と執行部全員の出席を確認し大会成立宣言。大會長・副議長には東京地本の代議員を選出し議事が進められました。

最初に大沼委員長が挨拶。来賓の関東交運労協滝沢武宏議長と交連共済東日本事業本部の橋本昭二事業副本部長から挨拶を受け、国労本部菊地忠志委員長から先の本部大會の報告を受けました。その後、視電披露、大会延期承認と進

み経過報告及び2018年度運動方針(案)が提案され、協約協定の締結・規約の一部改正の提案があり承認。機関紙・組織拡大標語表彰が行われました。続いて国労会館主催の労働講座が行なわれ1日目を終わりました。

2日目は、経過の承認と方針討議から始まり経過で4人方針で19人の代議員から発言がありました。盛岡からは経過で北上常義代議員が、今年2月に起つた東労組組合員の大量脱退により職場に過半

第32回国労東日本部定期大会

國勞盛國

発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行者 沢田光広
編集者 横内俊博
TEL 019-622-5021
メールアドレス
nrumori@poem.ocn.ne.jp

2018.9.10
第1521号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入まつてます！」

第74回定期地方大会が10月6日（土）に盛岡市のリリナで開催される。

第74回定期地方大会 代議員31人が決定

志統一してきたことを発言。方針では小林良宏代議員が地方交通線を守る闘い、東労議員が瓦解による職場代表者選挙の取り組みと組織拡大について発言しました。9地本の代議員からはこの1年間の最重要課題である組織拡大をはじめとする闘いの報告や東日本本部に対する要望など出されました。その中でも勉強になれたのは、仙台地本選出の佐藤代議員の報告で、郡山駅分合では、組合の所属を超えて職場の問題点、改善点を出しあげたことと現場長と交渉してきたことや国労の仲間が取り組んでいたことを目に見える形で他送

数を占める労働組合がなく、協定締結をめぐり、初めて経験した職場代表者選挙の実態や、なかなか結果が出ない職場における組織拡大の取り組み、悩みながらも分会全体で

▽ 9月15日（盛岡）
第12回地方本部執行委員会
▽ 9月15・16日（零石）
第12回地方本部組織拡大対策会議

▽ 9月16日（零石）

第6回地方本部組織検討会
▽10月6日（盛岡）
第74回地方本部定期大会
第一回地方本部執行委員会
▽10月21日（盛岡）
第6回地方本部ボウリング大会

今後も女性が働きやすい職場づくりをめざしていきたい

地本女性部はこの間「労働実態アンケート」を取り組み、結果、他労組女性組合員による協力をいただく中で職場における課題や問題点を掘り起こし、国労東日本本部女性部から加要求として本社団交も取ら組んできました。

盛岡でも女性部運動の発展にむけて7月30日、「国労会館で地本女性部「交流会」を開催しました。交流には佐々木智子女性部長をはじめ

はじめ4人の女性部組合員が、大変だが、今後も交流を企て、点在していく集まるところに、菊池要悦書記長、貞長、孝組織部長が出席しました。次ぐ東労組脱退で、「相次ぐ東労組脱退で、労組組合員は1人だけになった」「エルダー・社員」と、最後まで勤めるつもりだが、体調不良もあり退職意せざるを得なくなつたの報告や、「女性部組合員」の報告など、地本からは沢田光加し、

△ 大西 信行 盛岡建設七
△ 盛岡運輸分会
大沼 齊 (M.R.S.・盛岡)
△ 盛岡電気分会
浮中 明 (盛岡信号メセ)
△ 盛岡貨物分会
石川 博勝 (盛岡総鉄機関区)
△ 一戸地域分会
上村 義光 (仙建・一戸)
△ 花輪線地域分会
工藤 則彦 (仙建・花輪)
△ 北上駅連合分会
中村 弘之 (北上駅)
小綿 隆三 (T・Y・I・t 花巻駅)
△ 北上工務分会
中村 祐幸 (北上保技七)
工藤 慎一 (北上保技七)
△ 小池 修 (L・Y・I・t 前沢駅)
△ 一関工務分会
千葉 明告 (一関保技七)
△ 氷仙沼地域分会
千葉 勝美 (氷仙沼駅)
△ 釜石地域分会
菅田 善明 (L・Y・I・t 遠野駅)
△ 宮古地域分会
留場 義繼 (宮古駅)
△ 青森支部・12人
小原 典昭 (青森駅)
△ 青森駅連合分会
小笠原 新 (青森運輸区)
△ 青森運輸区分会
小笠原 俊 (八戸運輸区)
△ 八戸工務分会
松橋 隆 (東洋機械)
△ 八戸貨物分会
小笠原 俊 (八戸幹保技)
△ 八戸運輸分会
和田 智俊 (東北ロジ八)
△ 関連輸分会
横浜 幸徳 (青森保技七)
△ 青森運輸分会
中嶋 宏 (青森改造七)
△ 青森電気分会
石田 春夫 (青森電力メ)
△ 青森貨物分会
中村 健悦 (青森総鉄道)
△ 野辺地三沢地域分会
大水 剛 (仙建・野辺)
△ 八戸運輸分会
殿村 祝詞 (八戸運輸区)
△ 八戸工務分会
和田 智俊 (東北ロジ八)

私たちに求められている、職場の問題改善、安全安定輸送の確立と技術継承。組織の強化拡大は、待ったなしの状況である▼国鉄採用者から平成採の若い方々に運動を継承するためにも分会活動が重要なつている。今こそ、未加入の方々に自信を持って「国労に来い」「一緒に職場の問題を解決しよう」と声掛けしよう。「災いは忘れた頃にやってくる」と昔の人が言っていたが、私たちは30数年歴を食いしばって踏ん張って運動してきた。自信を持つて職場に仲間を増やそう（秋）

機関紙コンクール 応募作品募集

- 応募資格
各級機関の機関紙
(昨年7月～本年8月迄の発行)
- 応募締切
2018年9月25日(火)
- 審査
地方本部教宣部
- 表彰
最優秀賞・優秀賞・佳作他
(第74回定期地方大会で表彰予定)

暑い日が続いた。関東から西日本では、猛暑日が35日続くなど記録ずくめの夏となつた。また、大雨の被害もあり、被災された方々にはご冥福申し上げます▼大雨をもたらした要因は梅雨前線が発達したオホツク海高気圧と太平洋高気圧との間に停滞したこと。上層のジェット気流の蛇行が持続したためと気象庁が発表している。また、今回の豪雨は地球温暖化に伴う水蒸気の増加もあつたと考えられるとしている。また、今回の豪雨は地球「今まで経験したことがない雨量が観測されている、今まで経験したことがない」と非難を呼びかけていた▼今まで経験したことないといえども、今年2月東労組がストライキ通告で多くの労組未加入者により職場代表者が誕生した。その中で、国労組員が少ないところでも代表に選ばれたことは他労組、未加入の方が色々な面で期待していることなのだと思う。私たちに求められている、職場の問題改善、安全安定輸送の確立と技術継承。組織の強化拡大は、待つたなしの状況である▼国鉄採用者から平成採の若い方々に運動を継承するためにも分会活動が重要なつていている。今こそ、未加入の方々に自信を持つ「国労に来い」「一緒に職場の問題を解決しよう」と声がけしよう。「災いは忘れた頃にやってくる」と昔の人が言つていて、私たちは30数年齢を食いしばつて踏ん張つて運動してきた。自信を持つて職場に仲間を増やそう（秋）

